

学校だより

<学校教育目標>

ちえとねばいとおもいやり

2023年11月30日(木) No.9

西内の宝物の勉強をしてきました(11/6)

総合的な学習の地域自然グループが企画のなかよし遠足第2弾で、戸羽公民館と独鈷山の登り口、霊泉寺に行ってきました。戸羽公民館では、西内小学校発祥の鼻輪(いりん)学校跡の石碑を見学後、郷土の歌人である小林泉さんについて地域の方にお話を伺いました。小林泉さんが実際に書いた歌の屏風を見せていただき、小林泉さんの功績についてわかりやすく教えていただきました。

その後、独鈷山の登り口まで歩いて行き、途中十二支の置物のスケッチをしました。この十二支の置物は独鈷山の頂上までの間に置いてあり、今回は3つ目の虎まで見えました。

そして、霊泉寺までバスで移動して、霊泉寺のご住職さんよりお寺の歴史について教えていただきました。お寺の荘厳な雰囲気を感じ、自然と背筋がのびる思いになりました。

西内の宝物についてたくさん学び、西内のよさを改めて感じた1日になりました。



天女の笛と石像が生まれ変わりました(11/9)

彫刻の森美術館の学芸員の方にお越しいただき、学校にある「天女の笛」と「二宮金次郎」、「なかよし」の石像の修繕、ワックスがけ作業を行いました。子ども達も一緒に作業に参加し、防水のための薬剤をかけたり、ワックスをかけたりしました。学芸員の方からは、長く受け継いでいくための手入れの必要性やブロンズや石像を傷めない細やかな工夫などを教えていただきながら、作業を進めていきました。

特に、「天女の笛」の作業では、金粉入りのワックスをかけた後、学芸員の方がバーナーでそのワックスを炙ると鮮やかな金色となり、50年ほど前に設置した当時の輝きを取り戻しました。これには、子ども達から大きな歓声が上がっていました。生まれ変わった「天女の笛」と2つの石像を大事に受け継いでいきたいと思えます。



～子ども達の感想より～

- 今日天女の笛をきれいにしたり、二宮金次郎もきれいにしたりできてよかったです。天女の笛が金ぴかになってよかったです。
- 天女の笛をお手入れしました。天女の笛だけじゃなくて、二宮金次郎もお手入れしました。こすったりすると、あわがたくさん出てきました。天女の笛は、ワックスをぬるとすごく金ピかになりました。
- 今日、天女の笛をお手入れしました。ワックスでコーティングしたら金ぴかになって、バーナーで焼いたらもっと光ってすごいなと思いました。水もはじくそうなので、見てみたいです。

『なかよし旬間』 ～校長講話より～(11/15)

西内小学校では、11月6日(月)～11月22日(水)の期間、「なかよし旬間」を行っています。この旬間中は、なかよし遠足や友だちへのありがとうカード、児童集会などを行い、友だちのよさを見つけたり、友だちとのよりよいかかわり方について学んだりしています。そして、この日はこの旬間にあわせて、校長先生から本の読み聞かせを行っていただきました。絵本『あのとき すきになったよ』を通して、子ども達は、友だちのよさや友だちのためにできることを考える貴重な時間となりました。

～子ども達の感想より～

- ・まりかさんは、本当はやさしい人だし面白い人だなと思った。最後は仲良くなっていい話だなーと思いました。これからみんなとなかよく学校で過ごしたいです。
- ・まりかさんは、不器用ながらもちゃんと「わたし」のことを心配して思いあって仲良くなった。いい人。ぼくは、いつか誰かとわかり合って思い合うために理解をみんなとしあいたいです。
- ・「わたし」とまりかさんが仲よくなっていいなと思いました。心の中で「ごめんね」といったことが心に残りました。
- ・まりかさんが「わたし」に対して助けてあげたり元気にしてあげたりして、すごくやさしいなと思いました。私はいつか誰かの未来のために、自分ができることならなんでもしてあげたいです。

世界のギターリストと熱唱！(11/17)

今年度の人権同和教育講演会を平井・西内公民館、PTAと共催で、講師に長野県社会福祉協議会 川崎昭仁様とS&T ロッジ代表 高下力蔵様をお迎えして行いました。川崎さんは、幼少期の高熱が原因で手足に麻痺が残り、車イスでの生活をしておられます。しかし、高校生の時に足でギターを弾く方の映像を見て、自分でもギターを弾くことはできないかと練習を重ね、2021年には東京パラリンピックの開会式で、演奏を行うほどの方です。



ご講演では、優しい語り口でこれまでのご経験の中で、努力されてきたことや感謝していることなどをそのときのエピソードを交えてお話ししていただきました。また、実際にギターで子ども達の馴染みの曲やポ-

ーカルの高下さんと川崎さんが作った曲などの演奏をしていただきました。力強いロックの演奏に心が震えるとともに、みんなで手拍子をして盛り上がりました。川崎さんと高下さんの熱い演奏に感動と勇気をいただいた時間になりました。

ワクワク、小旅行！(11/10)

6年生が、東京社会科見学に行ってきました。西内小学校の修学旅行は2年に一度、5年生か6年生の時にいきます。今年の6年生は、昨年度すでに行っているのですが、今年はなかったのですが、修学旅行の要素も入れて出かけてきました。移動は新幹線と電車を使いましたが、切符はすべて自分たちで購入しました。ちょっとしたトラブルはありましたが、みんな手際よく購入していました。そして、東京駅に着くと、駅内の広さとすごい人で、どうなるかと心配しましたが、お互いに声をかけ合いながら、スムーズに移動していて感心しました。午前中は国会議事堂と東京タワーの見学をして、上野に移動して昼食で、もんじゃ焼きを食べました。作り方は店員さんに教えてもらいながら、東京ならではの味を満喫しました。また、アメ横も散策し、下町の雰囲気も味わってきました。午後は、国立科学博物館、東京ドームシティーの見学をし、上田に帰ってきました。日帰りの見学でしたが、ワクワク、ドキドキの楽しい旅になりました。



学校運営委員会を開催しました(11/17)

7名の運営委員の皆様に参加していただき、学校運営委員会を行いました。今回は、1学期学校自己評価の結果や今後の学校支援ボランティアのあり方について協議しました。

学校自己評価については、金管バンドの活動を通して表現する力が身につけてきていることや困ったことや何かあったときもお互いに助け合う姿が見られていて、嬉しいとのご意見をいただきました。また、学校支援ボランティアについては、統合に向けて丸子中央小のボランティアの方との交流の計画を進めていただいているお話や今後関わっていけそうな取組についてそれぞれのお立場からご意見をいただきました。丸子教育事務所のコミュニティースクール担当の方にも参加いただいたので、連絡を取り合いながら準備を進めていきます。

西内小学校での生活も残すところあと73日。本日、学校運営委員の皆様にご意見を今後の学校運営に生かしつつ、このあとの教育活動につなげて参ります。

丸子中央小でナッフザックづくり(11/10)

5年生が丸子中央小学校へ行き、中央小の5年2組と2時間の授業を一緒に学習してきました。この日は、図工と家庭科の授業を受けてきましたが、家庭科ではナッフザックづくりを行ってきました。まずは、ミシンで縫う場所に印をつけましたが、布に線をまっすぐ引くところは難しそうでした。そのため、みんな真剣に作業に集中して取り組んでいました。その後の片付けでは、中央小の友だちに「ここは、わたしがやるね。」「ありがとう」などと声をかけ合いながら、にこやかにやっていました。

続きは西内小で進めますが、中央小の友だちの進捗状況も伝えながら完成を目指します。



陶芸で大作づくりに挑戦!(11/10)

2年生と4年生が陶芸の最終制作を行いました。この日は、保護者の方や西内保育園の園児さん4人も参加しました。今回は西内小最後の記念作品づくりということで、大きな作品づくりに挑戦しました。

子ども達は事前に描いたスケッチを参考に、思い思いの作品をつくっていきました。途中、粘土の重さに耐えきれず、つぶれてしまう場面がいくつかありましたが、そこは講師の先生の神の手で見事に修復していただき、それぞれ満足のいく作品を仕上げていました。1日がかりの制作となりましたが、最終製作にふさわしい作品となりました。



12月の予定

- | | |
|--------------------------|-----------------------|
| 1日(金) 安全点検日 5, 6年最終制作 | 22日(金) 体みがき 西内クラブ |
| 2日(土) ふれあい人権の集い(セレスホール) | 26日(火) 2学期終業式(短縮4時間) |
| 8日(金) 収穫祭、クラブ(最終回)、西内クラブ | 27日(水)~1月8日(月) 年末年始休業 |
| 11日(月)12日(火) 5時間授業 | 28日(木) 金管バンド氷灯籠祭点火式 |
| 11日(月)~22日(金)読書旬間 | |
| 14日(木)~25日(月)学期末清掃 | |
| 18日(月) 個別懇談会① | |
| 19日(火) 個別懇談会② | |
| 21日(木) 6年飲酒喫煙防止教育 | |

学力向上に向けて

1 全国学力学習状況調査の結果と考察(6学年で実施)

【国語】

総合得点率で県や全国平均を下回る結果となりました。「言葉の特徴や使い方に関する事項」、「書くこと」の領域はよくできていましたが、「話すこと・聞くこと」、「読むこと」、「思考・判断・表現」の領域で課題が残りました。

「話すこと・聞くこと」、「読むこと」、「思考・判断・表現」の領域については、少人数が故に多角的な対話が成立しにくかったり、様々な考えをもとに追究できなかつたりする等の原因が考えられます。教師も一人の児童役となって違った視点の意見や考えを出しながら授業を進めること、4人でも説明したり伝えたりする「思考・判断・表現」の場を確保することに努めていきたいと思っています。

【算数】

総合得点率で県や全国平均を上回る結果となりました。特に、図形を正しく見たり読み取ったりする問題はよくできていました。また、「知識・技能」に関する領域についても高い正答率となりました。少人数で個別支援がしやすく、1つの問題をじっくり見ながら考える時間が取れることが結果につながっていると思われるので、今後も継続して授業を進めていきたいと思っています。

しかし、単純な計算ミスやデータの読み取りでの間違いが見られたので、丁寧に計算することや四則計算の順序等を再確認し、データの読み取りやデータの活用といった「思考・判断・表現」につながる時間を設けていきたいと思っています。

2 学力向上のための取り組み

- (1) 教科担任制と全校授業(全校国語・全校体育)を取り入れ、全職員で全校の児童を見ていくことや、より大人数での授業機会を増やして対話を生み出すことを大事にしています。
- (2) 昨年度の研究で活用した対話の合言葉(◎ 聞くポイント・◎ 話すポイント・◎ 質問ポイント)は継続して教室に掲示して意識できるようにしています。
- (3) 自主学習を各学年に応じて指導し、なるべく毎日行い提出するように取り組んでいます。
- (4) 複式授業の対応で「教科書ノート」を活用することがありましたが、今年度は通常のノートを使い、学習問題や学習課題を設定し、追究、振り返りという授業の流れを大切に授業づくりに取り組み、児童の主体的な学習につなげています。
- (5) 児童全員について、一人ひとりの生活の中でつけたい力や伸ばしたい力を明確にして、そのための指導、支援の手だてを話し合う機会を作っています。

3 成果と課題

- (1) 教科担任制や全校での授業を行ったことで、職員も児童にもメリハリが生まれるとともに、職員間で児童の様子を共有でき、全職員で多角的に子ども達を捉えて支援することができてきました。
- (2) 対話の合言葉を活用しつつ、全校国語や全校体育といった授業を設定することで、少人数の中でもなるべく人数を増やしての対話経験を積ませる場を設けることができました。しかし、まだ職員を介しての対話になることが多いので、児童同士での対話がもっと生まれるよう支援していきたいと思っています。
- (3) ノートやプリントに板書や自分の考えを書いたり、それをもとに表現したりする場をできるだけ多く設定していますが、今後も継続して指導をしていきたいと思っています。
- (4) 自主学習は、ほぼ毎日全児童が提出していますが、内容が漢字練習や算数のプラス問題等に偏りがちなので、より計画的に自分の弱点や興味のある点について進められるように支援していきたいと思っています。